

# 第8回グッドライフアワードにおける環境大臣賞の取組（10件）

## 最優秀賞：荒れた山林を児童養護施設の子もたちと伐り拓いて里山づくり～自らの力でふるさとを創り上げる試み～

【概要】荒れてしまった山林を児童養護施設の子もたちとともに再生することで里山保全と児童福祉の一石二鳥の活動を展開。企業向け里山研修事業や里山紹介サイト運営も行い、施設退所者の自立支援も推進している。

（実施主体：NPO法人 東京里山開拓団 場所：東京都）



## NPO・任意団体部門：ジェットコースターが見える大都会横浜は金沢漁港で、森林の5倍のCO<sub>2</sub>を吸収する昆布の養殖に挑む！

【概要】森林の約5倍のCO<sub>2</sub>を吸収し肥沃な海へと水質改善する能力がある昆布の養殖を大都市横浜金沢漁港で展開。ボランティア参加による環境教育や地産地消商品としての販売も行い全国展開を目指している。

（実施主体：一般社団法人 里海イニシアティブ 場所：神奈川県）



## 優秀賞：次世代へとつなぐ循環の環(わ)～生ごみ循環でまちを元気に～

【概要】生ごみとし尿・浄化槽汚泥によるメタン発酵施設おおき循環センター「くるるん」を中心に、ごみを資源として地域で循環させる取組を住民と協働して展開。生産される有機液肥「くるっ肥(び)」は地元の農家や住民に100%活用されている。

（実施主体：大木町 場所：福岡県）



## 自治体部門：平時の低炭素化と災害時のレジリエンスに貢献する「スマートホーム・コミュニティ」

【概要】地元のハウスメーカーや大学との「公民+学」の連携により先進技術を導入、再生可能エネルギーを効率的に使用し災害時のレジリエンス性も確保した街区「スマートホーム・コミュニティ」の構築・普及を展開している。

（実施主体：さいたま市 場所：埼玉県）



## 優秀賞：山村の暮らしを教育財に「暮らしの学校いだらぼっち」の実践

【概要】35年間の長期に渡り全国の小中学生が1年間親元を離れて泰阜村で共同生活する山村留学を展開、地域の住民と交流しながら、多くの子もたちが豊かな人間性を育てるとともに、卒業後も都市との交流を促進している。

（実施主体：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター 場所：長野県）



## NPO・任意団体部門：農福連携で地産地消、廃棄ゼロ。

【概要】障害者がやりがいを持って地域特産にこだわった農業の6次産業化を展開。JAへの出荷に加え併設のカフェ、付加価値の高い加工品販売など、環境にやさしい廃棄ゼロ活動に取組む。また地元の児童養護施設の子もたちへの農業体験の提供なども行っている。

（実施主体：社会福祉法人さんさん山城 場所：京都府）



## 優秀賞：「創業100年の八百屋、野菜のカネマツSDGsプロジェクト～信州松代から、地球の恵み、自然栽培の野菜を細胞に届けます～」

【概要】創業100年の地域に根ざした八百屋が、地元の自然栽培野菜を買い取って流通させ自然農業の事業化を推進。試食イベントや農家による講演会などの開催や惣菜の冷凍販売も展開している。

（実施主体：有限会社カネマツ物産（とカネマツ倶楽部有志） 場所：長野県）



## 学校部門：「私たちが社会に貢献することができる！」障害を持っている子ども達が社会貢献を通して世界中に笑顔を届ける「econnect project」

【概要】障害を持つ中学生・高校生が主体となってecoをテーマに「被災地支援」「社会貢献」「国際交流」の3つの分野で21のプロジェクトに取組むなど、活動は世界に広がり、地域社会の課題の改善・解決に貢献している。

（実施主体：econnect project 場所：福岡県）



## NPO・任意団体部門：mymizu: 使い捨てプラスチック消費を減らすことをはじめ、持続可能なライフスタイルを簡単に、楽しく！

【概要】無料で給水できる場所を簡単に探せる日本初アプリの開発やデジタルコンテンツ、教育プログラム、コンサルを通し多くの人に海洋プラスチック問題や環境保護の重要性について考えてもらうきっかけを作りだしている。

（実施主体：一般社団法人Social Innovation Japan（mymizu） 場所：全国）



## 地域コミュニティ部門：空き家×太陽光発電から始まる地域循環共生圏

【概要】地域の課題となっている空き家を借上げ、太陽光発電や防災設備を備えたコミュニティ拠点に再生させる取組。平常時はコミュニティスペースとして、災害時には防災拠点としての機能を発揮。サステナブルなまちづくりを目指している。

（実施主体：株式会社太陽建 場所：神奈川県）

